

飯南

議
会
報

い
い
な
ん

- 02 3月議会報告 一般会計予算
- 03 一般会計補正予算 可決された主な議案
- 04 一般質問
- 09 討論
- 10 採決の結果
- 11 全員協議会の議題 議会活動報告
- 12 視察研修報告
- 14 常任委員会報告
- 16 明日を拓く

第61号
令和2年4月20日



3月定例会を終えて

3月2日から17日までの16日間で開催

新型コロナウイルスの感染が世界規模で拡大し、社会と経済に深刻な影響をもたらしている。鳥根県においても感染者が確認されており、沈静化に向かうまでは、油断することなく町ぐるみで感染予防に努めていきたい。

●福祉施設の人手不足を解消するための施策のひとつとして、外国人学生を雇用しようとする福祉団体に助成金を交付する条例を制定した。福祉環境の充実と町民の福祉向上につながるものと期待する。

●出産から子育て支援の事業をさらに拡充し、年少人口の維持・安定を目指す。
●運転免許を持たない人に、タクシー料金の半額を助成し、利便性の向上を図る。

●災害への日頃の備えの重要性が増しており、頓原防災拠点施設と来島消防防災センターを整備する。昨年の防災訓練でされた意見も反映し、地域の実態に即した災害への備えを進めていく。

●園芸作物の生産拡大と新規就農者の支援として、新たに14棟のリースハウスを整備する。また、高収益作物として路地での白ネギの実証栽培に取り組む。

●ふるさと応援寄付金は、令和元年度1億5000万円弱となる見込みで、3年連続して過去最高額を更新することになる。問い合わせいただく皆様へのサービスを向上させるため、新年度から飯南町観光協会へ委託する。

●「非核平和の町」を宣言することについて、活発な討論がなされ可決した。

可決された主な議案

条例関係

飯南町自動運転長期実証実験に関する条例の制定など
15件

補正予算

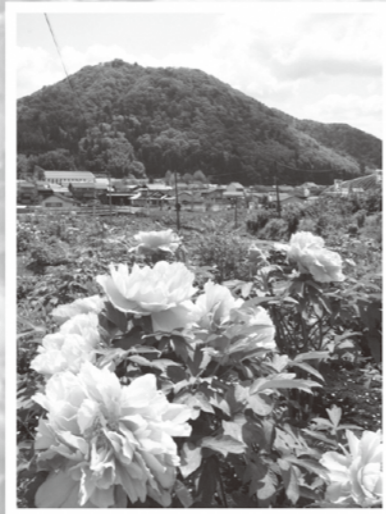
令和元年度飯南町一般会計補正予算(第7号)など4件

予算

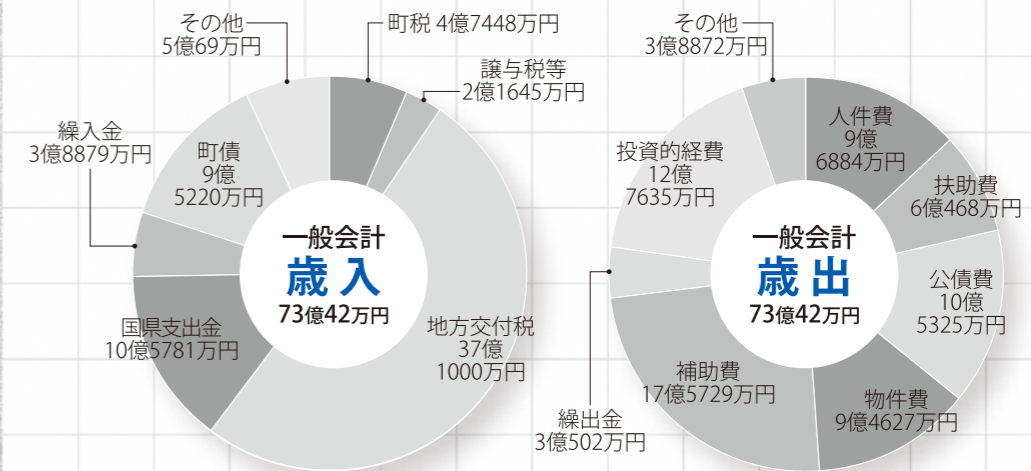
令和2年度飯南町一般会計予算など7件

諸議案

- ・飯南町「非核平和の町」を宣言すること
- ・公の施設(飯南町ふるさと森)の指定管理者の指定など11件
- ・教育長の任命



[令和2年度 一般会計予算]



一般会計・特別会計・事業会計の総額は **102億8252万円**

各会計		予算額
一般会計		73億42万円
特別会計	国民健康保険事業	6億1407万円
	後期高齢者医療事業	1億8041万円
	介護保険サービス事業	3808万円
病院事業		12億8195万円
簡易水道事業		3億3093万円
下水道事業		5億3666万円

[令和元年度 一般会計補正予算]

健康管理システムの導入に係る経費1345万円の増額、降雪量・来場客減少による琴引スキー場の指定管理料2200万円の増額、情報通信基盤(光ケーブル)整備に係る経費1億8200万円の減額、除雪費用1620万円の減額のほか、事業費確定見込みによる減額など

2億6602万円 減額

会計名	補正予算額	予算総額	
一般会計	△2億6602万円	90億7087万円	
特別会計	国民健康保険事業	△330万円	6億5481万円
	後期高齢者医療事業	373万円	1億7296万円
	病院事業	△160万円	12億6388万円

一般質問

3月定例会



内藤 真一 議員

Q 移動販売支援の継続を

生活支援策の一つとして移動販売が始まり、町が燃料費相当を補助している。この補助は令和2年度までで、業者はその先の運営を心配している。買い物弱者支援として継続できるように検討を求めます。

A 業者と検討

町長 山崎 英樹

移動販売では、食料品などの販売に併せ、見守り活動等もお願いしている。商店の減少と高齢化が進む本町では必要なサービスと認識しており、支援策を検討したい。



高齢者の買物を支援するローソン号

Q 大万木山等の環境整備検討を

昨年、初めて大万木山に登った。景色のすばらしさに比べ、設置してある休憩小屋とトイレが粗末であり大変残念だった。苦情や要望は無いのか。環境整備、維持のため入山料導入を検討してはどうか。

A 入山料は調査研究

町長 山崎 英樹

大万木山では、県が休憩所やトイレを整備し管理しているが、劣化している。登山道は、毎年最寄りの自治会組織等に草刈りをお願いし、管理してもらっている。環境整備は必要と考えており、入山料導入について調査研究する。



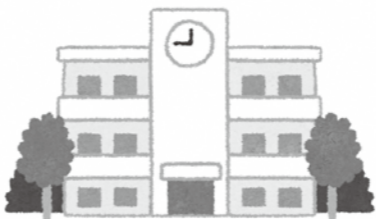
大万木山のトイレ

Q 教育長の姿勢を問う

丸山知事は、小中学校の少人数学級編成を見直し、放課後児童クラブの利用時間延長など、子育て支援を拡充したいとの方針を示し、市町村の理解を求めた。町長は昨年12月24日の町村会で、知事の子育て支援策に理解を示した。

ところが「子どもと教育を大切に」という町民のつどいで、矢飼教育長のメッセージが紹介され「少人数学級編成の継続を強く要望する」とあった。教育長は、町長の意見を踏まえて対応する必要があると思うので、誠に遺憾である。

町長の意見と教育長の考えを問う。



A 深く反省

教育長 矢飼 斉

会合へのメッセージには、一教育者として小学校1年生だけは少人数学級編成が必要だという考えから発した。思慮が足りず、軽率な行動であったと深く反省している。任命していただいた町長ならびに、同意いただいた議員の皆さまの信頼を損ねたことに、お詫び申し上げます。

今後は、飯南町の教育を第一に努力する。

A 今後に期待

町長 山崎 英樹

今回の知事の考えは、本町の学校運営に影響がなく、子育て支援が強化されることは歓迎すべきこととして、支持することを確認していた。教育長には、答弁のとおり、今回の事を踏まえ、行動していただけることと思っている。

一般質問

3月定例会



高橋 英次 議員

Q 地震体験車の活用を

島根県では、マグニチュード9クラスの地震を疑似体験できる地震体験車を所有しており、県民の防災意識を高めるために活用している。

我が町でも地震体験車を積極的に活用し、住民に体験してもらい、防災意識を高めていかか。避難訓練などで学んだ避難行動や、危険回避の動作が、実際にできるかの確認にもなる。



島根県所有の起震車(地震体験車)

A 12月に利用予定

町長 山崎 英樹

大切な提案で、体験をしてみらうことは重要だ。地震体験車の使用は、県内各消防本部で月単位での輪番制となっている。雲南消防本部に配置されるのは、直近で12月だ。季節も冬で年末だが、12月を目標にする。来年は防災訓練もあり、活用して防災意識を高めたい。

Q ドローンで

災害情報入手を

災害が起きれば正確な情報入手が必要だが、道路の寸断や川の氾濫、橋の崩落、火災の延焼など現場での詳細な調査ができない場合がある。

小型無人機ドローンを活用すれば、正確な被害状況の確認、安全な道の確認や迅速な災害への対応ができる。医薬品や緊急物資の輸送においても有効な手段である。

本町でも、導入に向け取り組むべきだ。

A 調査・研究する

町長 山崎 英樹

災害調査には有効だ。物資の輸送は美郷町が進めており、職員も勉強に向いている。

導入には、様々な課題や多額の投資が必要だが、調査・研究を行う。

Q 備蓄品の現状は

備蓄品目とその数量は。消費期限・賞味期限など、定めがある品目の取り扱いと管理は。また、保管場所はどこか、地域別になっているのか。備蓄に対する基本方針と、備蓄品目の選定基準などを確認したい。

A 人口1割分を目標に

町長 山崎 英樹

主食15000食分をはじめ、飲料水、衛生用品を、本庁舎・各支所・頓原防災センターに分散備蓄している。食料品は賞味期限3年から5年の物を備蓄し、期限が到来しそうな品目は、各種訓練やイベント等に提供し活用している。

基本方針は今後策定する。飯南町の人口の1割分を目標に、必要数を確保する。紙オムツ・粉ミルク、アレルギー対応品目を研究し、順次備蓄する。道の駅に液体ミルクなどを備蓄したいと思っている。

一般質問

3月定例会



伊藤 好晴 議員

Q 新型コロナウイルス対策は

一斉休校の要請に、本町は小学1・2年生は出校、3年生以上は休校という道を選んだ。児童・生徒および保護者に、休校の根拠をきちんと説明したのか。保護者から事情聴取などを行い、安心できる対策を講じたのか。

安全の確保が大きな問題だ。休校を理由に仕事を休めば、企業も人材が不足する。企業や保護者への相談体制も必要だ。休校中の児童・生徒が安全に過ごせるように、また、保護者の不安が解消されるようあらゆる対策を講じることを求める。

感染は「飛沫感染」と「接触感染」の二つが指摘される。予防対策方法を各家庭へ配布・啓発することが緊急課題と思うがどうか。



来島小学校

A 学校へ連絡対処

教育長 矢飼 斉

教育委員会・学校から保護者宛に文書を出している。保健だより等で休業中の過ごし方を通知した。休校などの根拠は説明しておらず、説明しなくてはいけない。休校中のことは詳しくは捉えていない。学校へ連絡し、対処したい。

A 課題解決に努力

町長 山崎 英樹

3年生以上の家庭は、通常通り事業所へ勤務をいただく前提だった。そこあたりの対応は確かに行っていない。色んな課題が出てくると思うので、指摘の視点をもって努めていく。感染予防対策のチラシを準備し、全戸へ周知する。

Q 充実したガン検診を

ガンによる死亡者数と医療費を削減するには、早期発見・早期治療が第一。線虫ガン検査サービスは、ガンの二オイに注目、95・8%という高い精度でガンの有無を識別でき、簡便な検査（尿採取）で、ステージ0や1という早期ガンも発見できるという。

A 今後の検討課題

町長 山崎 英樹

早期ガンを発見できる、それが分かるということは大変興味深い。詳細な情報収集もいまだできておらず、飯南病院の医師の意見も聞きながら、今後の検討課題とする。

一般質問

3月定例会



小野 覚 議員

Q 議会が採択した陳情の経過は

議会に提出された陳情や要望は採択して終わりではなく、町民の要望に応じて実現を図ることである。議会は処理状況を確認し、必要な措置を講ずる責任がある。

平成28年度から議会で採択した7件の陳情について、処理の検討経過、陳情者への経過報告を問う。

- ① 畑田東水路の改修
- ② 奥小田地区町道新設
- ③ 町区大仙町水路の改修



改修要望を採択した谷高齢者コミュニティセンター

A 実現に向けて対応

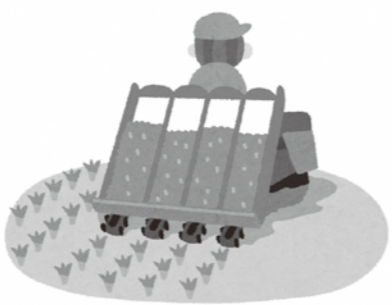
町長 山崎 英樹

議会が採択された陳情や要望は、実現に努力している。

- ④ 町道新市赤名線の未改良区の事業実施
- ⑤ 中井谷ため池の改修及び早期着手
- ⑥ 七面大ため池の改修
- ⑦ 谷高齢者コミュニティセンター改修
- ⑧ 国・県に適切な事業がなく、引き続き検討。
- ⑨ 令和2年度に改修する。
- ⑩ 実施している他の町道改良の進捗と財政状況を勘案し進める。
- ⑪ 県事業で実施するよう要望している。
- ⑫ 谷高齢者コミュニティセンターと谷笑楽校の二つの拠点があり、どこに置るか地域と協議する。

Q 町長と教育長の関係は

教育委員会は、首長から独立してはいるが、健全な町政運営には、町長と教育長の意思の疎通が極めて大切だ。このたび、小中学校の少人数学級編成の見直しについて、町長と教育長の考え方が違っていたことが一部の新聞で報道されたが、このことについて、どう考えているか。



A 軽率な行動だった

教育長 矢飼 斉

少人数学級見直し案については、町長と意思疎通を図り確認していた。報道にあったメッセージを発したことの経緯は割愛するが、大変思慮が足らず軽率な行動であったと深く反省している。

A 状況判断が不足

町長 山崎 英樹

この件については、二人で意見交換し、知事の考えを支持することを確認していた。ただ、教育長の状況判断が足らなかったため、結果的に違うということになった。今後は、今回のことを踏まえて、何が町の振興に資するかをしっかりと考えて、教育行政のトップとして汗を流してほしい。

一般質問

3月定例会



門 眞一郎 議員

Q コロナウイルス危機 どう対処

町内で感染者を出さないという覚悟を持って徹底した防疫体制を構築し、町民に示していくことが重要である。町長が直接呼びかけたことは大きな効果があった。さらに、文書配布により注意喚起すべきである。正しい情報を伝え、パニックにならぬように注意していかなければならないが、どう対処するのか。



A 全力で健康を守る

町長 山崎英樹

文書配布による注意喚起をするための準備を進めている。保育所へは、感染防止マニュアルを示し、保護者には文書で家庭での対応をお願いした。小中学校では、教職員に対し施設の適切な管理等を指導し、保護者には感染症対策や規則正しい生活について文書を配布した。文書やケーブルテレビを通じて、正しい情報を伝え、適切な措置を講じ、町民の健康を守っていく。

Q 不況に打ち勝つ 農業政策を

消費税不況、新型コロナウイルス不況など、景気面で明るい材料は見当たらない。農業所得増加策を行わなければ、町の存亡にかかわる。稲作では、生産原価抑制策を講じる必要がある。抑制効果がある直播栽培設備に町の支援を行い、普及を図るべきだ。



水稲直播栽培の模様

作物は、地質や生産者の気質まで勘案したうえで取り組まなければならない。生産が広がっているサツマイモは、他産地に比べ劇的に甘いものが収穫されている。生産拡大策を講じ、保存施設・加工施設を設置し、労力軽減のための機械化に努め、産業に育てていくべきだ。

A 環境づくりから 取り組み

町長 山崎英樹

水稲の直播栽培を進めらう。提案について研究を進める。

第5期中山間地域直接支払制度に、新たな生産性向上加算が設けられる。加工・販売・機械・農作業の共同化、スマート農業による省力化に対して交付される。多くの協定組織で取り組まれるよう支援する。園芸畑作物には人手の確保が必要であり、特定地域づくり事業推進法により事業組合を設置し、環境づくりを行う。サツマイモの生産・加工拡大は、農業振興計画の中にとのよう位置付けるか、関係者と協議していく。

討論

飯南町 「非核平和の町」を宣言すること

世界平和に向けた強い願いのもと、あらゆる国に対し核兵器の廃絶を訴えるとともに、日本国憲法に掲げられた恒久平和主義の理念を町民生活の中に生かし、次世代に引き継いで行くために「非核平和の町」を宣言する

反対討論 門 眞一郎 議員

核兵器禁止条約には、安全保障の観点で踏まえられていない。この条約に参加すれば、核の傘の抑止力を失い、国民の生命財産を危険にさらすことになる。

国連憲章の敵国条項は、先の大戦の敗戦国が、戦争によって確定した事項を排除した場合、常任理事国は安全保障理事会の許可がなくとも当該国に対し軍事制裁を容認するものである。

情報戦争では、抵抗意識を破壊し、「平和」や「人類愛」をプロパガンダとして利用。マスコミなど宣伝メディアを利用して、自分で考える力を奪っていく。

このような中での「非核平和宣言」は善意を持たない国に対し、誤ったメッセージを与えかねない。子孫に負の遺産を残すことのないように、慎重に行動すべきである。以上の理由で、時期尚早であると判断した。

反対討論 熊谷 兼樹 議員

恒久平和主義の理念を否定するものではない。今回提案された案件は、町長や議員間において十分に議論する時間がなく、唐突で賛成するだけの論拠が得られない。

宣言文では、非核三原則について疑念があるかのような表現があり、理解しがたい。

東アジア地域の安全保障環境は厳しさを増しており、宣言をする環境にない。

恒久平和主義の理念を町民生活の中に生かすとすれば、原発に依存しない町宣言から行うべきだ。

以上のことから、時期尚早という意味で反対する。

賛成討論 小野 覚 議員

世界の恒久平和は全ての人々の願

いではあるが、現状は数多くの核兵器が存在しており、紛争もある。我が国が米国の核の傘の元にあることは紛れもない現実である。しかし、世界で唯一の被爆国として、核兵器の廃絶を訴える責任があり、義務であると思う。

飯南町国民健康保険条例の改正

賦課限度額を現行の61万円から63万円に引き上げ、低所得層の保険料負担軽減を図る

反対討論 伊藤 好晴 議員

国保の被保険者は、非正規労働者をはじめ年金生活者など無職の人が世帯主の大半を占めている。被保険者間での負担のやり繰りで負担増を回避しようとするのは無理である。

保険料が年収2000万円程度まで上がり続ける社会保険と違い、国保は多くの市町村で保険料が年収600万円前後で上限に達する。国保の財政が厳しく、保険料の高

騰を招いたのは、50%あった国の交付金が25%まで引下げられたのが原因。助成金を元の50%に復活するよう、国に強く求めることを要求する。それまでは、一般会計からの繰り入れでの対応を求めらる。

賛成討論 高橋 英次 議員

日本の国民皆保険制度は、加入者が保険料を支払っていけば、貧富の差なく、等しく同じレベルの医療が受けられる。

この唯一の保険制度を守るため、日本国民が等しく負担を応分するのは妥当であり、賛成する。

賛成討論 熊谷 兼樹 議員

国民皆保険制度そのものについての反対は、国政の場であるべき。ポジションを得て改正を目指すべきだ。

この度の改正は、中間所得層の被保険者負担に配慮する目的と、低所得者が保険料負担を重いと感ずる国民健康保険の抱える構造的問題に対応し、低所得者の保険料軽減対象を拡大するための改正であり、改革への一歩として評価し賛成する。

採決の結果

臨時会 [2月7日開催]

件名	結果	小野 覚	伊藤 好晴	瀧尻 行雄	門真 一郎	熊谷 兼樹	内藤 眞一	高橋 英次	景山 登美男	安部 丘
固定資産評価審査委員会の委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会の委員の選任	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会の委員の選任	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会の委員の選任	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会の委員の任命	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H31飯南町ケーブルテレビネットワークFTTH化工事(第2期)請負変更契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度飯南町一般会計補正予算(第6号)	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対

採決の結果

[3月定例会]

議案の採決結果は次のとおりです。

件名	結果	小野 覚	伊藤 好晴	瀧尻 行雄	門真 一郎	熊谷 兼樹	内藤 眞一	高橋 英次	景山 登美男	安部 丘
飯南町「非核平和の町」を宣言すること	可決	○	○	○	●	●	○	●	○	○
飯南町自動運転長期実証実験に関する条例の制定	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町チャレンジオフィスの設置及び管理に関する条例の制定	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町外国人介護福祉人材確保対策事業条例の制定	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町交通指導員設置に関する条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町監査委員条例等の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町非常勤の職員の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当支給条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町堆肥センターの設置及び管理に関する条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町印鑑条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町介護予防拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町医療及び福祉従事者確保対策助成金条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町国民健康保険条例の一部改正	//	○	●	○	○	○	○	○	○	○
飯南町町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R元頓原町民野球場照明灯改修工事請負契約の締結	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H31来島拠点複合施設建設工事請負変更契約の締結	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
住宅使用料及び定住住宅使用料に関する権利(債権)の放棄	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道料金に関する権利(債権)の放棄	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
診療収入に関する権利(債権)の放棄	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雲南市・飯南町事務組合と奥出雲町による可燃ごみの処理施設に係る調査及び研究に関する事務の委託	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雲南市・飯南町事務組合規約の一部を変更する規約	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新町建設計画の変更	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町ふるさとの森)の指定管理者の指定	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の認定	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の廃止	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度飯南町一般会計補正予算(第7号)	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度飯南町病院事業会計補正予算(第5号)	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町一般会計予算	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町国民健康保険事業特別会計予算	//	○	●	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計予算	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町介護保険サービス事業特別会計予算	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町病院事業会計予算	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町簡易水道事業会計予算	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町下水道事業会計予算	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育長の任命	同意	○	○	○	○	○	●	○	●	○

○賛成 ●反対

全員協議会の議題

令和2年2月7日(金)

- ①防災拠点施設の整備計画について
- ②中期財政計画について
- ③飯南町無人航空機運営協議会の法人化について
- ④子ども子育て支援対策事業の拡充について
- ⑤外出支援タクシー助成事業について
- ⑥頓原町民野球場照明設備改修工事について

令和2年3月2日(月)

- ①新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応について

令和2年3月16日(月)

- ①新型コロナウイルス対策について

令和2年3月17日(火)

- ①新総合振興計画等策定について
- ②第2期飯南町子ども子育て支援事業計画について
- ③障がい者福祉施設整備「晴雲の里」について
- ④東京農工大学・J Aしまね雲南地区本部・飯南町の産官学連携協定について

議会活動報告 [1月～3月]

- 4日 飯南町成人式
- 6日 議会広報編集委員会(紙面校正作業)
- 9日 議会広報編集委員会(紙面校正作業)
- 12日 飯南町消防団出初め式
- 18日 広島頓原会(広島市)
- 21日 教育経済常任委員会
- 23日 雲南地域議会議長連絡協議会研修会・意見交換会(飯南町)
- 7日 議会運営委員会：臨時会の提出議案、日程外の協議臨時議会、全員協議会
- 12日 教育経済常任委員会：視察研修(岡山県西粟倉村)
- 20日 雲南広域連合議会2月定例会
- 21日 島根県町村議会議長会定例総会
- 22日 竹島の日記念式典
- 25日 総務厚生常任委員会：視察研修(広島県神石高原町)
- 26日 議会運営委員会：3月定例会の提出議案、日程外の協議

- 2日 3月定例議会：本会議、町長提出議案の説明、全員協議会
- 3日 本会議、町長提出議案の説明、質疑、委員会付託
- 6日 本会議、一般質問
- 9日 委員会審査
- 10日 委員会審査
- 11日 委員会審査
- 12日 委員会審査
- 13日 委員会審査
- 16日 委員会審査、予算特別委員会、全員協議会
- 17日 本会議、討論、採決、全員協議会
- 24日 議会広報編集委員会(議会広報紙編集作業)
- 25日 雲南市飯南町事務組合議会3月定例会
- 27日 議会広報編集委員会(議会広報紙編集作業)

教育経済常任委員会



1億7千万円の木造建築トイレ

この村は「約50年生まで育った森林の管理を、ここであきらめず村ぐるみであと50年がんばろう。そして美しい100年の森に囲まれた上質な田舎を実現していこう」と村長が呼びかけ、「百年の森林構想」が定着した。

岡山県西栗倉村

ただの田舎じゃない魅力を探る

集約的な施業を可能にしている。百年の森林総合情報システムネットワークの構築により林地のデータ化を行っている。

レーザ航測(※1)による地形解析を利用して、作業道の検討や不適地の特定を行えるようになった。レーザ航測にかかる費用は5400haで2300万円である。

山の高さや水分条件、傾斜などの生産力により区分化を行い、生産不適地を自然林に戻すなど、効率的な施業計画を行えるようになった。これまでの10年間は間伐中心の施業で、作業道を整備し、利用間伐に努めている。

平成30年度の実績は利用間伐118ha、作業道9.6kmである。今後は、年間1万㎡の安定的木材搬出を行っても資源は減らないと算出されているため、これを目標にする。

村内の新たな建築物は、地産地消によりほぼ村内産の木材を使って建築されている。道の駅のトイレ施設、木回廊、保育園、図書館、さらには計画中の新庁舎と続く。



保育園現地で説明を受ける

集められた切り捨て間伐材や林地残材を熱源とし、エネルギー供給を産業として育てている。薪ボイラーから発生する熱エネルギーを活用し、光熱費600万円の村外流失を止めている。

柱となる事業が軌道に乗り、周辺の産業に好影響を与えている。西栗倉村は、そこに居るだけで活力を感じる村だった。若者たちもこれを敏感に感じ取り、集まってきた。全国の銘酒を古民家で味わえる



建て替えられる西栗倉村庁舎前で

西栗倉村



岡山県

「酒うらら」、昔ながらの压榨機で食油を作る「abaho(アブラボ)」などローカルベンチャーは30社以上あり、170人も雇用が創出されている。

(※1)レーザ航測とは

航空機に搭載したレーザースキャナから地上にレーザ光を照射し、反射する時間差から得た距離と、航空機の位置情報より、地上の標高や地形の形状を調べる測量方法。従来の地形図や航空写真より高精度の地形図ができるばかりでなく、どんな高さの木が、どんな密度で生えているのか、断面図で知ることが出来る。

総務厚生常任委員会

まちの公共交通の取り組みを探る

広島県神石高原町

神石高原町は、広島県の中東部に位置し、平成16年に3町1村が合併して誕生した。人口は約8800人で、山あいに10戸未満の高齢化集落が点在する。高齢化率は47%。

生活交通対策

町内には電車が通っておらず、合併時は、民間バス会社の路線バスと、旧町ごとの制度で行われていた公共交通機関があったが、多くは民間の路線バスに依存していた。

路線バスの運行系統数の減により、町営のバス制度の統一と、数度にわたる交通対策事業の見直しが行われている。

タクシー利用の事業では、福祉タクシー事業と、予約制の乗合タクシーの運行を行っていた。当日利用が出来ない、希望時間に利用できない、乗合のため目的地まで時間がかかる、予約を断られたなどの声が聞かれ、アンケート調査でも利用者満足度40%と低く、乗合タクシーは定時定路線に変更された。変更後も、利便性が悪く利用者減が続いた。

路線型をあきらめタクシード成制度事業を開始

タクシード成制度(ふれあいタクシー事業)

補助対象

- ・ 満75歳以上
- ・ 身体障害者手帳、療育手帳保持者など
- ・ 75歳未満での運転免許返納者

利用目的

- ・ 問わない

補助内容

- ・ 片道運賃600円は利用者負担、超過分は町が補助(行先は町内のみ)

利用回数

- ・ 1人1ヵ月30回まで

利用タクシー

- ・ 町内のタクシー事業者



広島県

現状

- ・ 75歳以上の登録者数は64.8%、月別1人あたりの利用件数は4.1回
- ・ 平均では、運賃2950円、移動距離9km
- ・ 町負担分は毎月平均600万円

効果

- ・ 以前の制度では、年間4400人の輸送人員だったが、ふれあいタクシーでは、年間3万6974人となり大幅増となった
- ・ 輸送コストは1人5600円が1900円と下がった(総事業費は2.5倍)
- ・ タクシー事業者の存続の可能性が向上した
- ・ 利用者の満足度は94%



町役場で職員から説明をうける

課題

- ・ 地方交付税の減少が続く、厳しい財政運営の中、増加する事業費
- ・ 制度を見直し、持続可能な制度設計が必要
- ・ タクシー乗務員の高齢化による稼働台数の減少

現在7社25台のタクシーが稼働し、事業を支えている。本町は2社5台で、待ち時間の問題等が考えられる。

財政面の事もあり、実施・運営においては、制度設計の十分な研究と検討が必要だと感じた。

常任委員会報告

教育経済常任委員会

委員長 門 眞一郎



張戸真木線を現地視察

条 例

飯南町チャレンジオフィスの設置及び管理に関する条例の制定

赤名連垣地にある福島邸を、飯南町チャレンジオフィスとして活用し、新産業の創出および多様な産業の育成を図る。

審査意見

住民の活動を阻害することが無いよう求めた。後日、住民の活動からは利用料を徴収しないと報告を受けた。これを遵守されたい。

令和2年度 飯南町一般会計予算

担い手育成総合支援事業 604万円

新規就農者4名の機械設備導入を支援するもの。機械を持たない新規就農者への支援は重要であるが、効率的経営を実践するためには、パソコンも併せて導入すべき。栽培技術研修のほか会計処理や文書作成などの研修も行い、経営上、必要な技術を習得出来るよう求めた。

木質バイオマス推進事業 382万円

飯南町バイオマスセンターにおける、未利用材買取補助金、里山商品券印刷費などである。当センターは休止状態である。再稼働の見通しについての質問に対し、事業主体者とおが粉の含水率を下げるための方策を検討しているとの回答だった。事業主体の変更を含め、検討を求めた。

令和元年度 飯南町一般会計補正予算(第7号)

琴引スキー場外経常管理費 2200万円

スキー場入り込み客数が、3万2千人を下回ることで指定管理料が発生。

5年連続で発生しており、合併協議の内容に照らして、適切な対策を講じるよう求めた。

大しめ縄創作館経常管理費 579万円

指定管理料、パンフレット印刷費、トラック車検費等である。

トラックは町が所有するもので、導入時には町民が借用することができるとの説明だった。

一部の利用は認められるが、限定的である。広く周知し、利用の促進を求めた。

地域おこし協力隊活動事業〈観光〉 819万円

大しめ縄創作館に派遣される協力隊員2名分の活動費。

審査意見

地域おこし協力隊の募集は各課がおのおの行うのではなく、窓口を一本化し、効率的な導入・配置を行われない。

教育魅力化推進事業 505万円

教育魅力化推進員を外部委託し、教育魅力化事業を再構築するためのものである。

審査意見

飯南高校支援を二課で行っているが、所管を一課にまとめ、責任の所在を明確にし、意義のある事業遂行を求める。

常任委員会報告

総務厚生常任委員会

委員長 高橋 英次



解体予定の旧谷保育所

令和元年度 飯南町一般会計補正予算(第7号)

一般寄付金 500万円

あすなる基金からの寄付によるもの。

保健衛生総務臨時管理費 1345万円

健康管理システムの導入に係る委託料で、導入後は協会けんぽのデータ取得が可能となり、現在取得可能な国保と後期高齢者加入者データと併せて、家族の健康状態が総合的に管理できるようになる。

令和2年度 飯南町一般会計予算

携帯電話エリア整備事業 4483万円

獅子地区にKDDI基地局を整備するもので、都加賀^{こくら}国倉地区への整備は、令和2年度において事業者単独で予定されており、これにより町内の不感地区は解消される見込みである。

定住促進住宅整備事業 1億238万円

旧来島診療所跡地に3戸整備9398万円と、八神地内での用地取得に840万円を充てる。

外出支援タクシー助成事業 179万円

18歳以上の運転免許を持たない人に、タクシー料金の半額を助成する。

令和2年4月1日以降、運転免許を自主返納された人に、タクシー優待乗車券2万円分を交付し、移動手段の確保と利便性の向上を図る。

障がい者福祉施設整備事業 5800万円

晴雲の里の新築整備に必要な施設整備費9530万円の補助残分4500万円と、舗装外構工事費1300万円を過疎債で支援する。

過疎債は、70%交付措置がある。残りの30%部分は晴雲の里が12年間で分割返納する。

医療従事者確保対策事業 1500万円

これまでの対象者に加え、新たに3名の外国人留学生に助成金を給付する。

子ども・子育て支援対策事業 887万円

出産祝金として、新年度より第1子及び第2子に10万円、第3子以降には50万円を給付する。

子育て世帯給付事業は、新年度から、0歳から2歳未満児の保護者世帯に、月額5000円以内の子供用品を現物支給するものである。

給付方法については十分な検討を求める意見があった。

災害対策臨時管理費 7924万円

旧頓原小学校跡地に、ドクターヘリ臨時離着陸場・消防ポンプ操法練習場などの設備を伴う頓原防災拠点施設の整備に5400万円。

来島基幹集落センター解体工事費1980万円と、その跡地に整備する来島消防防災センターの調査設計費に425万円を充てる。



「晴雲の里」建設用地

さつまいもは飯南町にピッタリ!!

小才田の認定農業者

宇山智明さん
ちあき

水稲6町とさつまいも5反を耕作しています。

水稲は、7反が合鴨を使った有機・無農薬栽培です。昨年春に80羽入れましたが、外敵に襲われたため補充を繰り返し、最終的に150羽入れました。しかし、残ったのは11羽でした。中山間地域研究センターにも究明を依頼しましたが、正体はつかめずじまいです。

あいがも農法は今年で13年目。固定客もつき、ふるさと納税の返礼品にもなっています。これ以上の拡大は難しいですが、望まれる方々のためにも続けて行きたいと思っています。

さつまいもは、農薬も化学肥

明日を拓く



楽しそうに農業について語る宇山さん

料も使わずに栽培しています。品種は「紅はるか」で、昨年までは3反でしたが、今年は耕作放棄された土地を預り5反に拡大します。

家内農業ですが、収穫は地区の方々に手伝っていたでいます。去年は3反で100万円程度になりました。販売先は産直と固定客が少しです。

出荷できないものも2〜3割ありますが、大きいものは給食に使っていただいています。加工品も考えていますが、ペーストやパウダーは価格が厳しいらしく、模索中です。

さつまいもは、比較的手が掛からず育て易いし、飯南町の気



自家製焼き芋

候と土質にも合っています。やまと芋も良いですが、さつまいもも支援してもらえれば生産者は助かります。

小才田は6戸の限界集落で、何とか耕作放棄地を作らないようにと苦心しています。この地区を盛り上げようと、秋には芋掘りイベントを開催し、東京・広島・松江などからも来られます。しめ縄館におられた協力隊員との縁で、東京から5名位来てもらったのが最初で、徐々に広がってきています。こうした催しを継続しつつ、新たな賑わい創出も検討しています。

今月の表紙写真



「ありがとね」ハウスで稲の育苗準備を手伝う真剣な眼差しに、宇山さんは孫の可愛さが深まったことでしょう。限界集落といわれる小才田で4世代6人で暮らしておられる宇山さんご一家。地域を守るために家族が集い、集落が協力して農作業にあたられるそうです。「さつまいもは町の気候と土質にあっている」と意欲的に生産拡大に臨まれていることは素晴らしいことです。さつまいもが、交流人口増加の鍵となりますように。

編集後記

安倍首相の「休校要請」の一言で、全国の学校で大騒ぎになりました。

本町では、小学1・2年生は出校、3年生から中学生は休校という措置でしたが、小学1・2年生出校の理由が、「まだ幼いため、一人で家におくのは無理がある」「休ませると、(保護者が仕事を休み)病院業務ができなくなったり、施設での介護ができなくなる」との説明でした。

ここで英知を結集する必要があったと思います。何らかの体制をとり、保護者が安心して仕事に就けるような配慮が欲しかったと思うのは私だけでしょうか。

保護者が休むと困る企業では、独自で託児所を開設したところもありました。町が音頭をとって託児所を開設できるような町にならなければと思います。

小さな町ですから、隅々まで目の行き届く施策ができるものと信じています。

ともあれ、感染を防がなければなりません。手洗い・手指消毒の励行、普段からの健康管理(十分な睡眠とバランスの良い食事など)、適度な保湿・換気などでウイルスをもらわないよう気をつけましょう。町内での発生がないことを祈ります。

議会広報編集委員 伊藤 好晴